

事例番号:290285

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第五部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

経産婦(帝王切開)

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 37 週 3 日 既往帝王切開後妊娠のため、予定帝王切開目的で入院
胎児心拍数陣痛図上、胎児心拍数波形異常は認めない

4) 分娩経過

妊娠 37 週 5 日

12:57 予定帝王切開により児娩出

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:37 週 5 日

(2) 出生時体重:2400g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.31、BE -7.0mmol/L

(4) Apgar スコア:生後 1 分 6 点、生後 5 分 9 点

(5) 新生児蘇生:実施せず

(6) 診断等:

生後 7 日 退院

1 歳 反り返り強く、自立座位、立位不可

(7) 頭部画像所見:

1 歳 2 ヶ月 頭部 MRI で、基底核(被殻)および視床と白質の信号変化を認める

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 3 名、小児科医 1 名、麻酔科医 2 名

看護スタッフ:助産師 1 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、入院前の一時的な胎児低酸素・酸血症の可能性はある。

(2) 胎児低酸素・酸血症の原因を解明することは困難であるが、臍帯圧迫による臍帯血流障害の可能性が否定できない。

3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

妊娠中の管理(既往帝王切開後妊娠のため妊娠 37 週 5 日に予定帝王切開の方針としたこと等)は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 2 回既往帝王切開の妊産婦に対して、帝王切開の説明を行い、同意書を取得したこと、予定帝王切開を施行したことは一般的である。

(2) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

3) 新生児経過

生後 7 日までの管理は一般的である。

4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項
なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項
なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

なし。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。